

2012.7.17 ~ 7.22にかけて 琉球大学へ行きました

【琉球大学医学部附属病院・整形外科での研修報告です】

新潟大学医学総合病院
整形外科 村岡 治

研修内容について

- ・手術見学
 - ①Dupuytren拘縮（環指、小指）
 - ②Perthes病：大腿骨内反骨切り術
 - ③肩鎖関節脱臼（Rockwood type V）：プレート固定、烏口鎖骨靭帯修復術（Surface-holding法）
 - ④腱板広範囲断裂：直視下腱板修復術（Surface-holding法）
- ・術前、術後検討会
- ・病棟回診
- ・外来見学
- ・学会、セミナー参加

診療内容について

- ・術前・術後検討会、病棟回診、術前説明会でiPadを使用（各班に1台ずつiPadと一眼レフカメラを支給）
- ※学会発表ですぐに資料が使用出来るようまとまっていた。
- ・術前検討を2回施行（前の週と術前日の2回）



指導医が研修医にiPadで講義している様子
※琉球大学は最先端だなーと感心!!! (撮影：筆者)

地域的な医療、生活の差異を実感した点について

- ・特に医療的な差は感じられなかった
- ・患者様はみな実年齢より10歳若く感じられるほどvitality溢れていた

本学との相違点、印象に残った点

- ・留学は、希望に沿えるよう教授筆頭に医局スタッフの先生方が寛容な対応をして下さるようであった
- ・研修医は1年近く自由選択期間を設けられており、専門性の高い医療を選択できる
- ・楽しかった思い出：琉球大学医学部附属病院、沖縄赤十字病院、海邦病院と3施設にわたって手術見学をさせていただき本当に感謝しております。整形外科の先生を始め医療スタッフの方々为本当に温かかったです

感想

大学病院を拠点に関連病院や学会参加など多岐にわたって研修をさせていただきました。琉球大学整形外科 NAR担当の神谷先生、前任者の山口先生をはじめ金谷教授、普天間医局長および各病院の部長先生にも大変お世話になりました。これだけ自由度のある研修をすることができ、得られるものは大きいと感じております。今後のNAR制度がますます広がっていければと思います。

2012.8.26

平成24年度第2回指導医キャリアアップ講習会を開催しました

平成24年8月26日（日）の午前11時から新潟県医師会館において、日本プライマリ・ケア連合学会新潟県支部との共催で第2回指導医キャリアアップ講習会を開催しました。

講習会では、まず医療福祉生協連家庭医療学開発センター所長の藤沼康樹先生から、「家庭医の生涯学習：複雑性の観点から」の演題で御講演をいただきました。先生は新潟大学医学部のご出身で、東京で長く家庭医として活躍され、現在は家庭医の育成にも尽力されているそうです。家庭医の定義は、長くそこにいてすべてに関わることである、とされています。日本にあてはめると、高齢化社会を背景に在宅ケア・終末ケアに関わることといえます。したがって家庭医育成では、扱う健康問題が多様で網羅性が必要であり、弱点補強型の学習になると言うことでした。

つづいて、社会福祉法人長岡福祉協会理事・執行委員 高齢者総合ケアセンターこぶし園総合施設長の小山剛先生から、「[地域包括ケアの現状と展望]～医療関係者に期待するもの」の演題で御講演をいただきました。日本の人口の年齢構成の変化から、現在は2.6人で一人の高齢者を支えているのが、2060年には1.2人で一人の高齢者を支える状況になります。現在は介護保険がサービスの中心になっていますが、これから高齢化社会に向けて考え方を変えていかないといけません。死の迎え方についても、長年住み慣れた自宅での死を望む要望が多いのですが、実際には9割が病院で亡くなっているというのが現状です。これに対応するために在宅医療連携拠点事業が始まっています。認知症への対応も課題の1つで、早期診断・早期対応、地域での生活を支える医療サービス、医療・介護サービスを担う人材の育成、等の視点での取り組みが行われています。これらのサービスを行うために、地域社会が1つの施設・病院であるという考えと、行政の連続的な支援体制が大切になってきています。

今回の講習会を通して、勤務医があまり触れることのない、プライマリ・ケアの視点でのさまざまな患者へのアプローチ、教育システムの知識を得ることができました。



2012.9.29

秋田大学で開催された、第1回シミュレーション教育指導者セミナーに参加しました

平成24年9月29日の午前10時より、秋田大学医学部附属病院のシミュレーション教育センターにて開催された、第1回シミュレーション教育指導者セミナーに参加しました。

セミナーでは、琉球大学医学部附属病院地域医療教育開発講座の阿部幸恵先生をお招きし、シミュレーション教育の基礎と急変患者対応について、講義と実習が行われました。

まずシミュレーション教育の基本について講義が行われました。

医学の進歩・社会からの要求の変更に伴い、医療者には高い技術と人間性が求められるようになってきています。これに伴い医学教育でも、CBT・OSCEなどカリキュラム改革が進んでおり、知識伝達型から学習支援型の教授スタイルに変化してきています。

また医療安全に対する関心も高まっており、実践力向上のための教育法の1つとして、シミュレーション教育が重要な位置を占めてきています。しかしシミュレーション教育にも利点と限界があるため、それらを把握した導入が求められています。

その後、急変患者への対応をテーマに、実際のシナリオに基づいてシミュレーション体験実習が行われました。参加者が4チームに分かれ、各人が医師、看護師、そしてファシリテーター役となり、吐血、熱傷のシナリオに沿っ

て実習を体験しました。実臨床にかなり近似した設定で、頭で考えたとおりの行動がなかなかとれず、反省点を多々感じる体験となりました。しかしここででた反省点をふり返り、チーム全体で共有することが最も貴重な学習体験になるということでした。

これまでシミュレーション教育については体型的に学んだ経験はありませんでしたので、今回の講習会は非常に有意義なものでした。現在の医学教育の中でのシミュレーション教育の重要性、可能性を大いに感じることができ、貴重な経験となりました。



2012.10.26

第2回「先輩医師との茶話会」を開催しました

平成24年10月26日の午後5時から、新潟大学医学部総合病院3階の第4検討会室において、本年度2回目となる先輩医師との茶話会「先輩医師と語ろう ～私のキャリアと生活～」を開催しました（主催：新潟大学男女共同参画推進室、共催：医師キャリア支援センター）。

当日は8名の医学部生が参加しました。ロールモデルとなる先輩医師として、第2内科の坂上亜希子先生、小児科の入月浩美先生、放射線科の麻谷美奈先生、佐藤幸子先生、そして研修医の伊藤友美先生から、それぞれの先生の経験に基づいて仕事と研究、家庭の両立についてお話しいただき、後輩へのメッセージをいただきました。

参加した皆さんのアンケートからは、「いろいろな生き方、選択肢があるということが分かって良かった」、「結婚や出産に関する福利厚生について詳しくお話を聞きたい」、「外科系の先生のお話しても聞いてみたい」等のご意見をいただきました。

医学生や研修医が自分の将来像を描くのに、この会が一助になればと考えています。



専門研修用高度シミュレーター（紹介） Simbabyを導入しました

この度、乳児医療トレーニングを効率的にチームで行うための高性能乳児医療トレーニングシミュレーターである、SimBabyを導入いたしました。正確な解剖学的構造と臨床機能を装備し、救命救急や集中治療をはじめ、高度な乳児医療のシミュレーショントレーニングが可能です。ソフトウェアによるシミュレーション操作だけではなく、ビデオ記録機能、双方向テクノロジーが搭載されており、様々な実践的な乳児患者の医療行為および全身管理を効果的にトレーニングできます。また、実際の現場で遭遇することの少ない稀な症例のトレーニングが可能で、実践的で確かな医療行為の実施に役立ちます。

【特徴】

- ・実物大乳児患者シミュレーターで、学習者はあらゆる乳児救命救急に要する手技とシナリオを実行できる。
- ・解剖学的に忠実な気道を再現しており、すべての気道確保の手技とシナリオの正確なシミュレーションを行な

うことができる。気道はLMAと気管内挿管を含むほとんどの手技や医療器具と互換性があり、舌浮腫、喉頭閉塞、喉頭痙攣、両肺の抵抗、両肺のコンプライアンス、及び胃膨満を再現することが可能。

- 生体に忠実な気道構造により、あらゆる困難な乳児気道確保および患者ケアシナリオの正確なシミュレーションができる。
- IVトレーニング用の腕とIV / IO用の下肢で、静脈路確保および骨髄穿刺のトレーニングができる。
- 乳児呼吸パターン（シーソー呼吸、陥没呼吸など）を再現、肺のコンプライアンスや気道抵抗の変化、胸腔穿刺シミュレーションが可能。チアノーゼ状態の再現も。
- 正常音や様々な異常な心音を再現。コトコフ音の聴診、上腕動脈の食新による血圧を調整・測定し、脈拍を心電図と血圧と同期させ、数か所で触診することができる。



今後の活動予定

①NAR大学・地域連携「+α専門医」の養成事業 活動報告会

文部科学省 高等教育局医学教育課 大学病院支援室 平野室長より、「大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成事業終了後の今後の展望について」の基調講演をいただきます

【期日】平成25年1月26日（土）午後1時00分より

【会場】チサンホテル&コンファレンスセンター 4階 越後の間

②平成25年2月9日（土）「CPVS基本コース」を開催します！（詳細は決まり次第お知らせいたします。）

「CPVS基本コース」とは、群馬沖縄や沖縄県立中部病院初期研修にて絶大な人気を誇る「バイタルサインから生理学的解釈法」を習得するシミュレーションコースです。人気初期研修プログラム プロジェクト都星沖縄センター長の宮城征四郎先生が提唱されたバイタルサインの生理学的解釈法を、沖縄県若手救急医懇話会代表の入江聰五郎先生が拡大・開発したのがCPVS（Clinical Physiology of Vital Signs）です。

連携 テレビシステム

ランチョンセミナーの同時配信や
各種検討会の配信を実施中
またオンデマンド配信の説明会も
随時開催しています

N 専門研修案内

新潟大学医学総合病院
Niigata University Medical & Dental Hospital

医師キャリア支援センターホーム
ページ上で2012年度版を公開中
冊子をご希望の方は医師キャリア
支援センターにご連絡ください

専門研修医登録 更新フォーム

随時 登録・更新受付中
適宜更新、追加をお願いいたします

☎お問い合わせ

新潟大学医学総合病院医師キャリア支援センター
〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町754番地
Tel : 025-227-0895 Fax : 025-227-0886
E-mail : carycen@adm.niigata-u.ac.jp